

1. ナチスドイツ

ヒトラーの歴史は、人々は知ってか知らずか「ヒトラーは悪人だ」と思っていた。ヒトラーは「悪人だ」と思っていた。ヒトラーは「悪人だ」と思っていた。選挙でそのように選挙権を奪った国民や、議員も同じくらい悪人だ。自分も悪役にならないうちに、選挙権を大切にしたい。

ナチの話は 今後、世の中のために、しっかりと学ばないといけないことだと考える。特に収容所の見学をさせられた

ここにも学ぶ理由が！

してこなかったが、「周知にあわせて」ヒトラーの独裁に声をあげなかったのではないかと感じた。結局それは考えることを放棄して、選択を自分の意志でしていなければ、科学のABCと結びつかないことだと感じた。

両面ありと思える。合理的にヒトラーに任せておけば「経済的に豊かになった」というABCはあったと思える。

2. 選挙と学ぶこと

自分には選択肢があるから、選挙に行く、行かないを選べるけれど、もし行かずにヒトラーがいたことが再び起こってしまったら「知らなかった」では済まされたいと思った。

判断が難しく、選択しが多いとき人は選択することをしなくなるというのは、本当にその通りだと実感した。この性質を使って、世の中では私たちの選択を指導しようとしている事例が多くみられる。だからこそ私たちは自身で選択したという実感が大切で、そのためにたくさん勉強する必要があると思

まず、なぜドイツを扱ったか。日本だと冷静に見れないことがあるからです。次に、強調したいのは、選挙で選んでも、選挙にいかなくても、ナチスドイツのような状態を生み出す可能性があること。3つめは、ヒトラーが勉強したことです。どうやれば人心を操れるか、一生懸命勉強しました。勉強することは騙されないようにするために重要ですが、人を騙す手段を手に入れることでもあります。そして、学んだ人は、それを頭から消し去ることができません。責任が生じるのです。

自分の意見が素直に言える社会を作ることが大切だと思う。
いい視点、よね!

3. 同調

何かを選択する際、特に日本人は「周りの意見も同意の？」と尋ねることが多い。これは小さい頃から人と一緒に歩ませる、という周りに流されていく心理を疑問に思っている。やはり人は非合理的な部分がある。これに気づくと少し非合理的になれよう。

4. 等比数列的

500人に1人でできることが何個あればオニリーフ=にたみ話=キ=ワ=ワの西野さんのビジネスの本にも似たようなことが書かれて

小学生の頃、「1.01の努力をしろ」と先生に言われたことを思い出した。ただ1日1日を繰り返しているように思えても、その1日が0.99であれば1年後には361.35と後退する。反対に、その1日が1.01であれば1年後には368.65になるというものだ。

1を365回かけても1だけど、1.01を365回かけると、38ぐらいになります。そういう話？

5. 難しい選択

人は難しい判断をせまられると判断しにくくなるというのはハッとしました。たしかに、今までの自分を振り返ると、思いあたる場面が時々あります。トレーニングが必要だね!

どうも選ぶか、諦めるかの選択をしていることが多いと改めて感じた。

アイエプ-のトレーニングが必要だね!

選択を考えた時、その通りだと思えた。選択可能な内容によっては、自分の責任が関わってくる。責任を考えたときには、判断しやすくなった。

選択しないことにも、責任が生じることは覚えておくべきですね!

私も欲しい本が5~6冊ほどあり、お金の関係上一冊しか買えない時悩みに悩んで買わないという選択をしてしまうことがあり、人は難しい問題にあたった時判断しないう性質があるのだと今回の話を聞いて納得することができた。

本って出会いな感じがするので、しかも相手を束縛しないので、個人的には迷ったら買います。